



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシー株式会社

コード番号 6298 URL http://www.yac.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺本 和政 TEL 042-546-1161

四半期報告書提出予定日 平成27年11月16日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,102	68.9	461	—	462	—	236	—
27年3月期第2四半期	6,573	△21.1	△279	—	△194	—	△169	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 248百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △138百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	26.52	26.37
27年3月期第2四半期	△18.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	33,181	13,931	41.2
27年3月期	24,707	13,767	54.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 13,680百万円 27年3月期 13,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	59.4	1,400	77.8	1,450	50.0	870	36.0	97.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	9,674,587株	27年3月期	9,674,587株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	745,697株	27年3月期	755,397株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	8,924,069株	27年3月期2Q	8,919,190株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中でありま

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用の改善や個人消費の拡大により景気回復基調が続き、利上げ時期を模索する展開となり、欧州ではユーロ安を追い風に底堅く推移しました。一方、中国における景気減速の警戒感が広がったことなどから、総じて先行き不透明な中で推移しました。

日本経済においては、中国の景気減速の影響から、これまでの円安、株高基調に陰りが見られるものの、緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況のもとで当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と市場化に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高111億2百万円(前年同四半期比68.9%増)、営業利益4億61百万円(前年同四半期は営業損失2億79百万円)、経常利益4億62百万円(前年同四半期は経常損失1億94百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億36百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億69百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(ディスプレイ関連事業)

スマートフォンやタブレット端末向けの液晶加熱装置が大幅に伸び、業績は順調に推移しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は71億89百万円(前年同四半期比73.3%増)となり、セグメント利益は4億44百万円(前年同四半期比136.1%増)となりました。

(メカトロニクス関連事業)

高記録密度に対応した新型バーニッシュ装置、及びテストハンドラー装置の大口需要を取り込み、また、電力会社向けの安定した設備投資需要に支えられ、業績は好調に推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は32億34百万円(前年同四半期比74.0%増)となり、セグメント利益は2億58百万円(前年同四半期はセグメント損失1億84百万円)となりました。

(クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連装置分野では、国内の需要の減少傾向が続く厳しい状況が続く中、顧客需要を確実に取り込み、業績は底堅く推移しました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は6億79百万円(前年同四半期比19.8%増)、セグメント利益は30百万円(前年同四半期はセグメント損失1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は248億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億36百万円増加しました。主な増加は、受取手形及び売掛金34億56百万円、仕掛品29億55百万円、原材料及び貯蔵品2億78百万円、商品及び製品2億35百万円であり、主な減少は、現金及び預金10億27百万円、有価証券9億67百万円であります。固定資産は83億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億36百万円増加しました。主な増加は、投資有価証券9億99百万円、のれん8億16百万円、機械装置及び運搬具(純額)4億93百万円、土地4億66百万円、建物及び構築物(純額)1億10百万円であります。その結果、総資産は331億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ84億73百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は153億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ83億72百万円増加しました。主な増加は、支払手形及び買掛金44億85百万円、短期借入金33億80百万円であります。固定負債は38億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少しました。主な増加は、退職給付に係る負債1億75百万円、主な減少は、長期借入金2億80百万円であります。その結果、負債は192億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ83億9百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は139億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億63百万円増加しました。主な増加は、利益剰余金1億44百万円であります。その結果、自己資本比率は41.2%(前連結会計年度末は54.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、平成27年8月17日に公表いたしました通期連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,211,589	6,184,504
受取手形及び売掛金	7,077,799	10,534,196
有価証券	1,035,126	67,290
商品及び製品	147,213	382,890
仕掛品	2,788,163	5,743,827
原材料及び貯蔵品	636,700	915,418
繰延税金資産	241,050	386,180
その他	378,805	647,875
貸倒引当金	△11,560	△20,414
流動資産合計	19,504,887	24,841,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,705,236	3,295,843
減価償却累計額	△1,988,841	△2,468,752
建物及び構築物(純額)	716,395	827,091
機械装置及び運搬具	354,276	2,164,759
減価償却累計額	△269,233	△1,586,422
機械装置及び運搬具(純額)	85,042	578,336
工具、器具及び備品	2,381,058	3,039,610
減価償却累計額	△2,059,828	△2,678,370
工具、器具及び備品(純額)	321,229	361,239
土地	2,568,122	3,034,422
リース資産	39,064	137,642
減価償却累計額	△17,237	△80,974
リース資産(純額)	21,827	56,668
建設仮勘定	542,788	614,669
有形固定資産合計	4,255,405	5,472,428
無形固定資産		
のれん	90,753	907,463
ソフトウェア	38,912	60,023
リース資産	28,433	23,969
電話加入権	18,638	19,603
特許実施権	155,000	131,000
その他	31,407	11,757
無形固定資産合計	363,145	1,153,816
投資その他の資産		
投資有価証券	203,071	1,202,355
長期貸付金	92,713	78,735
繰延税金資産	176,458	185,226
長期滞留債権等	68,168	76,032
その他	140,511	275,303
貸倒引当金	△96,768	△104,582
投資その他の資産合計	584,156	1,713,071
固定資産合計	5,202,707	8,339,316
資産合計	24,707,595	33,181,085

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,588,992	8,074,815
短期借入金	1,576,688	4,957,324
1年内償還予定の社債	700,000	700,000
リース債務	16,480	26,466
未払法人税等	265,050	332,529
賞与引当金	217,935	290,948
製品保証引当金	89,241	183,447
未払費用	248,468	372,285
前受金	779	48,768
その他	273,968	363,215
流動負債合計	6,977,604	15,349,801
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	2,430,465	2,149,701
長期未払金	218,228	165,265
リース債務	36,351	57,379
繰延税金負債	71,747	91,739
役員退職慰労引当金	55,570	59,592
退職給付に係る負債	821,345	996,609
資産除去債務	—	50,886
その他	28,436	28,437
固定負債合計	3,962,144	3,899,611
負債合計	10,939,748	19,249,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	7,838,790	7,982,956
自己株式	△646,220	△637,922
株主資本合計	13,531,527	13,683,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,057	44,278
為替換算調整勘定	△30,564	△55,100
退職給付に係る調整累計額	6,875	6,976
その他の包括利益累計額合計	35,367	△3,845
新株予約権	23,631	25,554
非支配株主持分	177,319	225,971
純資産合計	13,767,846	13,931,671
負債純資産合計	24,707,595	33,181,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	6,573,200	11,102,918
売上原価	5,329,870	8,843,985
売上総利益	1,243,329	2,258,933
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	628,981	698,712
賞与引当金繰入額	53,760	110,151
福利厚生費	26,766	30,932
賃借料	52,956	61,309
業務委託費	34,509	43,010
研究開発費	133,899	120,834
減価償却費	89,775	113,266
その他	502,383	619,110
販売費及び一般管理費合計	1,523,031	1,797,328
営業利益又は営業損失(△)	△279,702	461,604
営業外収益		
受取利息	10,128	9,259
受取配当金	3,198	3,554
投資有価証券評価益	6,767	16,897
為替差益	75,273	2,847
受取賃貸料	5,907	6,092
その他	4,064	4,123
営業外収益合計	105,338	42,774
営業外費用		
支払利息	17,122	20,018
ファクタリング料	70	—
持分法による投資損失	391	18,144
その他	2,919	3,311
営業外費用合計	20,504	41,473
経常利益又は経常損失(△)	△194,867	462,905
特別利益		
固定資産売却益	165	162
負ののれん発生益	2,737	—
特別利益合計	2,902	162
特別損失		
固定資産除売却損	64	1,671
特別損失合計	64	1,671
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△192,029	461,396
法人税、住民税及び事業税	50,714	321,467
法人税等調整額	△63,602	△147,700
法人税等合計	△12,888	173,767
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△179,141	287,629
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,860	50,981
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△169,280	236,648

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△179,141	287,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,875	△14,853
為替換算調整勘定	33,317	△24,535
退職給付に係る調整額	△1,225	101
その他の包括利益合計	40,967	△39,287
四半期包括利益	△138,173	248,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△128,484	197,435
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,689	50,907

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,147,475	1,858,560	567,164	6,573,200	—	6,573,200
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,147,475	1,858,560	567,164	6,573,200	—	6,573,200
セグメント利益 又は損失(△)	188,129	△184,075	△1,304	2,749	△282,451	△279,702

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△282,451千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	7,189,170	3,234,556	679,191	11,102,918	—	11,102,918
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,189,170	3,234,556	679,191	11,102,918	—	11,102,918
セグメント利益	444,217	258,434	30,565	733,217	△271,613	461,604

(注) 1. セグメント利益の調整額△271,613千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において日本ガーター株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「メカトロニクス関連事業」のセグメント資産が4,588,713千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、「メカトロニクス関連事業」セグメントにおいて、日本ガーター株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は837,623千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、グループ会社の増加及び会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「産業用エレクトロニクス関連事業」及び「クリーニング関連その他事業」の2区分から、「ディスプレイ関連事業」、「メカトロニクス関連事業」及び「クリーニングその他関連事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。